

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

| | | | |
|-----|----------------------------|--------------|------|
| 例会日 | 水曜日 13:00～14:00 | 会長 | 島村恵三 |
| 例会場 | ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋 | 幹事 | 加藤正広 |
| 承認 | 2013年6月18日 | 公共イメージ 向上 | 藤谷 猛 |



2022～2023年度名古屋アイリスRCのテーマ

ちょっと無理して一步を踏み出し、
10年後のアイリスを創造し、
独自性を発揮して活動しよう。

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第435回 例会

2023年3月1日 13:00～

- 司 会 荒山久美 例会・出席・親睦委員長
- 斉 唱 君が代、奉仕の理想
- 出席報告 出席者数 17名 / 26名
出席率 65.3%
- ゲ ス ト
- ビジター 名古屋北 RC 水野吉紹様

ニコボックス

- 名古屋北 RC 当クラブ名誉会員
水野吉紹 様
4/20のチャリティゴルフの案内をさせていただきます。
- 島村恵三 会長
水野さん、いつもありがとうございます。本日、卓話宜しくお願い致します。
- 加藤正広 幹事
水野様「希望の風」基金の卓話宜しくお願い致します。
- 安井忠 ローターリー財団委員長
水野さん久しぶりです。今日は宜しくお祈りします。今週に入り容器が良くなりましたが、花粉症が心配です。
- 荒山久美 例会運営委員長
水野様、久々のアイリス登場ありがとうございます。卓話宜しくお祈り致します。
- 綿貫達雄 会計監査
3か月間ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。時刻、極楽共にお呼びでなく帰るところは、この場だけでした。宜しくお祈り致します。

3月度 誕生日お祝い

3日 岩崎幸弘さん 17日 竹内祐子さん

会長挨拶

みなさん、こんにちは。

北 RC 当クラブ名誉会員の水野様、久しぶりにアイリスの例会にお越し頂きました。また、本日は卓話を頂きます。よろしくお祈りします。

さて、昨日のI.M.お疲れ様でした。昨日、今日と2日連続で多少の疲れも感じますが、よろしくお祈りします。



本日は昨日のI.M.で私が感じたことを少しお話しさせていただきます。池森ガバナー補佐のもと今年のI.M.のメインテーマ「危機の時代に描く子供たちの未来」が開催され藤原紀香様に講演を頂きました。彼女はNPO法人スマイルプリーズの発起人であり自らアフガニスタン、カンボジア等を訪れ紛争や災害などの影響により厳しい環境下で生活している子供たちに様々なかたちで支援をしています。自らが現地を訪れ子供たちとふれあい何が必要なのか、何が子供たちの夢なのかを肌で感じられた為、ことばひとつひとつに説得力があり熱いものを感じました。

今後のロータリー活動において、自ら行動し経験することが重要であり大切であると再認識しI.M.の目的である「研修」と「親睦」を感じさせられた今年のI.M.でした。

幹事報告



皆さんこんにちは、昨日の東名古屋区分区インターミーティングIMにご参加頂き有難う御座いました。藤原紀香さんのお話は大変感動致しましたしとてもお綺麗でした。3月10日まで行うチャリティ写真展のご招待券がまだ有りますので、知人やお友達を誘われる方は申し出て下さい。

あとでお渡しいたします。

3月のロータリーレートは\$1=136円です。先月より6円下がりました。本日の卓話は、名古屋北 RC 所属で当クラブの名誉会員でもあります水野様から『希望の風』基金の説明を戴きます。水野様宜しくお祈り致します。

翌8日水曜日は、6RC 合同例会です。場所は名古屋東急ホテルにて18時かの開催です。お間違えの無いように宜しくお祈り致します。

翌16日木曜日は親睦夜間例会です。場所は須賀さんのお店シェコーベさんで18時からです。沢山のご参加をお願い致します。

翌22日水曜日は、藤谷さんから大変になる卓話を戴きます。そして、本日例会終了後に、第9回理事会が開催されますので、理事・役員の方はお集まり下さい。以上、本日の幹事報告でした、有難う御座います。

卓 話



卓話者:名古屋北ロータリクラブ
当クラブ名誉会員
水野吉紹 様
演 題:ロータリー希望の風奨学
金&チャリティゴルフ

・ロータリー希望の風奨学金について

2011年3月11日に発生した東日本大震災で両親または片親を亡くした子供たちに大学・短期大学・専門学校への進学をあきらめないで欲しいという思いから始まった支援です。震災直後から日本国内のロータリアン(ロータリークラブ・地区・会員)から寄せられた義援金・支援金は緊急支援や他様々な復旧・復興活動に利用がされました。その支援金の一部の3億円を当初の資金にして、未来を担う子供達への支援として奨学金を支給する事になりました。この奨学金は震災発生時に0歳だった子供が大学生になって卒業するまでの22年間を期間としてスタートしたプログラムです。運営は「ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会」として地震から1ヶ月後の2011年4月1日に発足。当初は34地区の内10地区が参加してスタートし、当2760地区も参加しました。2011年10月31日に名称を現在の「ロータリー希望の風奨学金」へ決定変更し翌11月1日より奨学生の募集を開始しました。

・必要支援総額について

当初の見込みでは2033年のプログラム終了時までに必要な支援金額は14億3千万円です。2022年6月末(21-22年度末)までに10億6672万7396円が支援金として集まりました。その内8億950万円が既に支給されています。現在の残金は2億5610万であり2026年度の学生までは支給が可能ですが、残り7年間を継続するには、あと3億6480万円は最低必要となります。2021-22年度の寄付金総額は、43,859,422円です。残りの7年間この年間ベースは最低限維持が必要ですので皆様のご協力をお願い致します。

・チャリティゴルフについて

チャリティゴルフを始めた理由は、クラブ創立50周年を控え予算不足であった為、「親睦と奉仕の実践!!」の下に「大人数を集めて事業を行おう!!」、「会員の事業所を利用し職業奉仕を!!」との声が上がりました。そこで趣味の会「ゴルフ友の会」会員の半数が毎月1回開催して親睦を楽しむこともあり、「チャリティゴルフで寄付活動を!!」という事になりました。これが始まりとなり現在に繋がっております。これから行われるチャリティゴルフに大勢の参加者をお待ちしております

プレイ風景



表彰式パーティの風景



第10回 田嶋・竹内両会長より神野希望の風奨学金理事へ目録贈呈



寄付先(星城高校)

選抜ゴルフマッチプレー選手権大会

